

□プロローグ。どこかの街の廃墟で

(左 近距離 普通の声)

逃げて、きちやいましたね。

今頃ガルメア王都は大騒ぎでしようね。勇者様がいなくなってしまったんですから。

私は勇者様の誘拐犯として、公開処刑つて感じでしようか?

……あんな国、気にする必要ないです。みんなみんな、お姫様までひつくるめて、人任せじゃない。

私達だって、人任せにしちゃえればいいんだわ。

壊れかけの境界防衛炉とか、最近増えてきた知能を持つ魔物とか、  
実は既に壊れちゃってた人族領域の神聖結界とか、全部、全部。

ご主人様。ナツね、昨日はすぐびっくりしたんですよ。

ご主人様、急に起き上がりなくなつて、帰りたい、帰りたいって。言つて、止まらなくて。  
元いた世界に戻りたいんじやなかつたんですよね。

ここにいたくないって言つて、叫ぶわけでもしやくりあげるわけでもなくて、  
人形みたいに動かなくなつて、目から涙だけ流れて、拭いても拭いても止まらなくて、  
抱きしめるまで止まらなくて。

私が守ります。私が貴方を守る。

ご主人様に王国をあげることはできなかつたけど……私は私をあげられるわ。

貴方はご主人様。勇者様でもなく、救世主様でもなく、予言の中の登場人物でもなく。  
私の、ご主人様。

たつた一人しかいない、私の、ご主人様なんです。

だから。

どうかお願ひ、

(左 超近距離 囁き声) (身を乗り出した状態です)  
……泣き止んで。

□どんより雲の夜の添い寝・前半

(中央 近距離 小声)

……ご主人様。ご主人様。

もう夜ですよ。ぼーっとされたままだとお体に悪いです。  
お食事をして、身支度をして、もう寝ませんか。

……う。

お辛いですか。  
眠気も、無いのですか。

私を買って頂けたばかりのとき、よく泣いてましたよね。

本当に独りぼっちになってしまったと。ナントカというお店のギュードンが食べたいと。  
そんな時、私も付き合つて、こんな世界の飯なんて食つてられるかつて叫びながら、一緒に夜ご飯を抜きました。

今日もそうしましようか。

ご飯なんて一日食べなかつたらくらいで死なないわ。

お湯浴びだつて省略しましよう？ 省略が流石にイヤなら、ばしやーっと流して、それで終わり。

お湯もご飯も、テキトーにしたつて全然死はない。

ご主人様が、お辛いのが、一番悲しいです。一番、嫌です。

ふふ。そうですそうです。もう寝ましよう。

(左 超近距離 囁き声)

大丈夫大丈夫。何も怖いことなんてない。何が来たつて私が貴方を守ります。

二人の愛の逃避行、誰にも邪魔させやしないわ。

そして世界の隅つこの教会で二人つきりで永遠の主従の愛を誓うんです。

お嫌ですか？ 私は最高の気分です。何が問題ですか？

……やだ。泣かないで。

私達フェアリーは魔力生命体ですから、周りの人が悲しんでいる

と、心が震わされて、

こちらもただではすみません。

辛いんですよ。クールな雪フエアリーのつもりなのに。

んう……参ったわ……

これでどうですか。

(キス音、アドリブ 1秒換算)

私を買って貰つたばかりの頃、こうやつてほつぺたにキスをすると、すぐ喜んでいましたから。

懐かしいですね。当時の私はまだ子供でした。

メイドごっこをやり出したのはいつくらいでしたっけ。魔族領域序列一桁を倒した頃ですか。弱くはなかつたですよね。

その頃から、私は私を名前で呼ぶのをなるべくやめるようになりました。

メイドがそんなことしてたらかつこ悪いですもの。

私がこの服を着ると、ご主人様がすぐすぐ喜んでいたので、つんとすましていましたが、私も嬉しくなった記憶があります。

奴隸というと聞こえは悪いですが、喜んでくれる相手からの命令は、だんだん従うとゾクゾクして嬉しくなつてくるんです。

一度ハマってしまうともうダメですね。相手を喜ばせる事以外考えられなくなる。もう頭馬鹿になつてしましました。ご主人さまのせいだわ。

だから……

(耳舐め 5秒)

ご主人様が寝付くまで、奉仕させて頂きます。

(耳舐め 30秒)

口と口のキスは危険ですからね。共振が進んじやう。

(粘膜の接触を続けると、聞き手が持つ聖属性魔力によって、ナツが洗脳状態のようになってしまいます。)

(その事は聞き手もナツも知っています)

(耳舐め15秒)

気持ちいいですか？ ふふふ。

(耳舐め90秒)

一人ぼっちになってしまったと思ったことはありますか。

群れからはぐれてしまつたという意味ではありません。

むしろ、その逆で……群れの誰よりも、先に行つてしまつたという感覚です。

頑張れば頑張るほど誰もいなくなつて、

もつと知りたいと思つて知れば知るほど、周りに並ぶ人は誰もいなくなります。

(耳舐め8秒)

ナツにはあります。もう、元の場所に戻つても、きつと誰も歓迎してくれません。

(耳舐め10秒)

でも、ナツにはご主人様がいます。

ご主人様にも、ナツがいます。

忘れないで。お願いします。

(耳舐め50秒)

そして、こうしてご主人様がここに転移してきたように、私を見つけて頂けたように、楽しい人も、悲しい人も、罪を犯した人も、犯された人も、

その人にぴったり合つた幸せな異世界があつて、その場所に大切な人が待つていて、その異世界に行っている——そう祈つて、とりあえず今はただ休むんですよ。

(耳舐め2秒)

戦いの基本は勝てる場面まで逃げることなんですか。  
逃げちゃダメなんて言つてゐるやつは、一度だつて命をかけて戦つた事がないんですから。

(耳舐め80秒)

……気分が落ちてるのですね。

体に一切力が入らないのに、うまく体から力を抜けないのではないか。

もうこうするしかないですね。

音を、聞いて。

私は妖精です。世界を救うご主人さまに仕える、自然の具現。  
この星と人族の想いから生まれる、この世界そのもの。

ご主人さまは世界を救う救世主様だけれど――

貴方の意思も、心も、体も……私のこの音に比べれば、ちっぽけなものです。

音を、聞いて？ 想像して？

貴方を追いかけるものは、人族大陸すべての空より、吹雪が舞い続ける無限の山脈より、  
大きいですか？

その私が言うんです。ご主人さまは安全です。

雨がやんでも、雪がやんでも、この音は絶対にやまないわ。

今のでほんの少しだけでも体と心のこわばりが抜けたなら、  
お歌を、歌つてあげます。

いつも、歌を歌えば、気持ちよさそうにお休みされますから。

歌姫をやつてあげるわ。ご主人様だけの歌姫。語り歌う場所はこの布団。

私に歌つてくださつたご主人様の世界の子守歌でも、ナツの世界の子守唄でも。

……リクエストはありますか？

□ どんより雲の夜の添い寝・後半。

おわりです。  
お粗末様でした。

……起きてませんよね。

前、ナツに気を使って寝た振りしたことありましたでしょう。

もう気付きますよ。二度は繰り返しません。だから、起きたら、私もずっと一緒に起きてますから。

代わりに、おやすみするなら、私も一緒にお休みさせて下さい。

二人で、一緒に、お休み、です。

□ほんの少しだけ明るい月夜の慰め・1・導入

(中央 中距離 普通の声)

今日は、めちゃくちやになりたい気分……ですか。  
アレをやるんですね……いいですが。

(中央左より 中距離 少し小声)

どんなに変態ちっくな事でも、  
ご主人様が何かに意欲があるということで、ご気分がマシという事は良いんですが、  
あんまりやりすぎるとご主人様が馬鹿になりそうで怖いです。

でも、ナツとご主人様が二人で「ねんごろになる」には、アレしか無いですね。  
最後までの行為はおろか、性器を触るだけでも、  
ましてや性器を使う慰みをサポートするだけでも、  
ご主人様に取り付いた強大な聖属性魔力が、私に流れ込んで、いつかのような面倒な事態  
になってしまいます。

(左 超近距離囁き 少し小声)

変態っぽくなれるところも、今ちよつとまぞが入っているご主人さまにはちょうどいい  
のかも知れません。

(左 超近距離囁き)

……乳首オナニー。

乳首だけを使って気持ちよくなる行為を、ご主人様、介添えさせて頂きます。

□ほんの少しだけ明るい月夜の慰め・2催眠誘導

(左 超近距離 嘴き)

そうだ。 そういえば、ご主人様？

気持ちよくなれるおまじないがあるんですけど……興味ありませんか？

(中央 超近距離 嘴き) (いつでもキスできるような至近距離で見つめ合っています)

おまじないはおまじないです。

言葉で、ご主人様の思考にちょっとだけ暗示をかけるんです。

妖精がたまに旅人を惑わして道に迷わせたりするのは、魔力と言葉で暗示をかけてやつてるんですよ。

ご主人様にもかけたことありましたつけ……？

怖くないですよ。私がご主人様に、害のある暗示をかける事は未來永劫ありません。  
というか、呪属性魔法とかじやないと、意に反するがちがちの催眠はかけられないし。  
妖精式の催眠術で、もーっと気持ちよくとろとろになりたくありませんか？

……とろとろになりたいって顔ですね。

可愛い……。

(左 超近距離 嘴き)

じやあ、まずは深呼吸をして下さい。

今からご主人様に深く深く集中した状態になつて貰います。

暗示と言つても、要は疲れ果てる相手とか、逆に集中している相手にしか入りませんから。

逆に言えば、ご主人様がすぐすぐ私に集中してくれたら、

私の言うことを何でも聞いてくれるようになつてしまふわけです。ふふつ……。

というわけで、集中する為にリラックスしましよう。深呼吸……。

吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。

リラックスを意識しながら深呼吸しただけで、ちょっとだけ気分が変わる事に気付きましたか。

吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。

そして一回呼吸するごとに、手、肩、体のパーツがほんの少しだけ重くなっていくわ。

吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。

ちょっとだけでも、体のどこかが重くなったと思いません。これが妖精式の暗示です。ふふふ……。

深呼吸はずっと続けてくださいね。深呼吸しているだけで、どんどん集中が進んでいくて、暗示の入りやすい心になります。

吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。

良いですね。今、ご主人様は既に暗示状態の入り口にいますよ。

妖精の声は旅人を惑わす……私達の世界なら誰でも知っている常識です。

私も、もちろん、何度か旅人で遊びましたよ。

ご主人さまに会う前の子供のナツですから、あほな子供がやるようなイタズラをして帰しましたけれど、

ご主人さまのことは、帰すつもりはありません。

最後にもう一セット、吸つて吐いてを繰り返すと、ご主人様の集中が一気に進んで、すとん、と……催眠状態になってしまいます。

催眠状態はね、すごく気持ちいいんです。

ばやんとして、でも声だけははっきり聞こえて、聞いているだけでぞくぞくして、気持ちいいのがだいすきなご主人様は、抗えないわ。

いきますよ。

吸つて、吐いて。  
吸つて、吐いて。ほら……

(暗示を畳み掛けるように) 意識が切り替わるみたいにどんどん入っていく。  
私の声だけを聞けるよう、意識が作り変えられていく感覚。  
ぐるん、脳を残して周り全てがひっくり返ったみたいな状態になつて、  
ただ私の声だけが頭に響いて、ぞくぞく、ぞくぞくが始まる。

(少し間を入れます)

ふふ。これで成功です。とろんつてなつてしまつてますよ、ご主人様。体が重くて、心地いいはずだわ。

(右に向けて動きながら 超近距離囁き)

今この段階で十分気持ちいいと思うけれど……まだ先があるので、もう少し催眠状態を深くしておきます。

催眠状態が深くなつていればなつてているほど、暗示の効果が強まりますから。

(右 超近距離囁き)

これから数字を3つ、何度も数え上げたり数えおろしたりします。

ご主人さまはそのたびに、私の指示に従つて下さい。

私の指示に従つて、私の暗示を受け入れるたびに、どんどんご主人様は催眠状態になつて、ふわっとして、

ナツの言葉の言いなりになつてしまします。

何をしようとしているかというと、ご主人様の意識を、時計の振り子のようにしようとしているんですよ。

集中状態を振り子のように揺らして、浮かび上がって沈み込むのを繰り返せば、どんどん深く強く催眠に入つていけます。

集中状態を軽くして、重くして、軽くして、重くして……。

ずうんと、空飛ぶ龍の背に乗るみたいに、集中状態にダイブすると、何回目かで、本当に妖精に魂を抜かれた人みたいな催眠状態に、なれるんですよね。

まずは今の催眠状態を軽くしますね。私の言葉を意識して下さい。

1、重くなっていた手足の感覚が、ほんの少しだけ軽くなる。

2、なんとなくとろんとした感じは残つたまま、周囲の感覚をもうちょっと思い出す。

3。（指を弾く効果音）

手をぐーっと前に突き出して下さい。伸びをする感じです。

ちよつとだけ集中が解けたはずです。

伸びをすると、気持ちいいわ。気持ちいいのがじん、と上半身に響いて…

手を前に出したまま、伸びを止めて下さい。今度は催眠状態に戻ります。0になつた瞬間、手をだらんと落として下さいね。

3、さつき軽くなつた手足が、急速に重くなつていく。

2、瞼も一緒に急激に重くなる。重い。重い。どこまでも、重い。

1、もうほほさつきの催眠状態に近いですね。とろーんとして、世界が遠い感じ。

0。（指を弾く音）

（暗示を畳み掛けるように）落ちる。落ちる。催眠状態に落ちる。催眠状態になつたまま、凍つたみたいに頭も体も動かない。

ふふ……ご主人様、ナツが凍らせてしました。

これでずーっと一緒です……。ずーっと二人でいましょうねー。

催眠状態を軽くします。

1、凍つたはずの手足の感覚が戻ります。

2、ぼやんとした気分はそのままですが、一瞬だけ催眠状態がなくなつたような錯覚を覚えます。

3。（指を弾く音）

手をぐーっと前に突き出して下さい。伸びをする感じです。

少しほやつとしているようですが、これで催眠は一時的に解けていますね。

だんだん戻るのも催眠状態になるのも早くなっていきますよ。心が慣れるんです。

戻ります。さつきと同じで、0になつた瞬間、手をだらんとして下さい。

3、起きたはずの体が、また催眠状態に戻ります。

2、落ちる。落ちる。凍る。凍る。深い。さつきのカウントダウンよりもずっとずっと深い。

1、大丈夫だろうかつてくらい深く落ちる。大丈夫ですよ。ナツがそばにいます。だから、深く落ちましょう。

0。（指を弾く音）  
だらん。

落ちる。そして、手足の先から凍つっていく。がちがちで、動かない。

痛くないのは、凍らせている私が貴方を……愛しているから、です。

そのぶん強力な氷のはずですよ。魔力の力は想いの力ですからね。もう、ぴくりとも動かないかもしません。

もう何をしてもぴくりとも……動かないかもしません。

催眠状態を軽くします。大丈夫ですよ。戻つてれます。ただの言葉だけの暗示ですか。ちょっとだけ魔力も入れてますけど。

1、2、3。（指を弾く音）手をぐぐーっと前に突き出して。

戻つてきますよ。戻つてこれます。

ふわふわして、けつつこう催眠状態という感じですね。でも、それより更に先がありますから。

3、2、1、0。だらーん……。重い。全身が重い。本当に凍つているみたいに、手足が

一切動かない。

貴方の体は、私が言葉で与える暗示の通りとなる。

1、2、3。手をぐぐーっと前に突き出して。

3、2、1、0。入つて。……ふふつ。

（中央 超近距離囁き）

あーあ……もう、ご主人様は私のもの。

ご主人様が悪いんですよ。そんなにも可愛らしい表情で体も心も差し出すのだから、好き放題してしまいたくなるんです。

それを望んでいるんでしょう？

では。もう夢うつつという感じで聞こえていないと思いませんが。  
ご主人様に一番効くやつを二つぶちこんであげますね。

### (左 超近距離囁き)

(耳キス、アドリブ1秒換算)

ご主人様の体は、今、催眠状態です。私の言うことを、何でも受け入れてしまう。  
その上で、

(耳舐め1秒)

まず、今から私は、舌を通してご主人様に魔力を注ぐようにします。  
注ぐ先は、耳。

妖精の暗示術は、言葉と魔力を通して暗示をかけるもの。  
耳から魔力を入れられるほど、ご主人さまの催眠は深くなる。

(耳舐め1秒)

そして、二つ。貴方は耳を舐められて気持ちよくなるほど全身の感度が上がります。  
もちろん、全身というのは耳もですよ。快感が魔力と反響して連鎖するんです。  
だから、耳を舐められている限り、ずっとずっと催眠に落ち続けて、気持ちよくなり続けて、止まらなくなっちゃいます。

ご主人さまは耳を舐められるだけで催眠に無限に落ち続ける。

そして、ご主人様は、耳を舐められるだけで無限に体の感度が上がってしまう。  
耳だけで頭が真っ白になってしまふかもしませんよ。

……ふふふ。感度、試してみます？

今から3秒数えると、貴方の体は催眠状態であるにも関わらず、催眠状態のまま動くようになります。

3、2、1、0。(指を鳴らす音)

体が動く。にもかかわらず、貴方の催眠状態は解けません。そういう催眠だからです。  
まず、耳を舐める前の体の感度を確認して下さい。  
お腹とか、脇腹とか、二の腕とか、エツチなところ以外で、自分の感覚を確認してくださいね。触って。

もういいですね。手を止めて下さい。ほら……止めて。

……耳を舐めますね。耳を舐められれば舐められるほど、感度が上がります。  
あーん……

(耳舐め 10秒)

さて、また3秒数えたら体を触つて下さい。  
さつきと違うのは、体の感度。

まるで今まであつた薄い皮を一枚ぺりぺりめくつたみたいに、全身がくすぐつたい場所  
になつたみたいに、  
ぞくぞく、ぞくぞく、気持ちよくなつてしまします。触り続ければおかしくなるくらいに、  
全⾝が。

3、2、1、0。触つて。  
ぞくぞく、ぴりぴり、びくびく……全⾝が震えそななくらい、エツチなどころは何も触つ  
てないのに……すごくすごく感じます。  
こんな状況でエツチな場所を触つたらどういう気持になるんだろう  
どうなるんでしょうね？ 想像してみてくださいね。変、態、ご主人様。

(中央 超近距離囁き)

……あーあ。出来上がりっちゃつた。

(左 超近距離囁き)

これで暗示は終わり。

夜の森を、冬の山を、抜けられないみたいに、貴方はもう、「気持ちいい」からは抜けら  
れない。

□ほんの少しだけ明るい月夜の慰め・メイン（ループ可能）

（左 超近距離 囁き）

乳首を弄りましょう。

まずは、シャツの上から、ひつかくように。

単純で、一番気持ちいいですよ。

私もよくやります。貴方のことを考えながら。

かりつ……かりかり……。

甘く傷つけるみたいに、「気持ちいい」を確認して。

そして一度気持ちいいを確認したら、早くしたくなりますよね。  
かりかりかりかり……かりかりかりかり……。

続けるのよ。

（耳舐め20秒）

体を震わせたくなつたら震わせて下さい。

切なくて我慢できなくなつたら、もっとナツに身を委ねて？

シャツの中に手を入れましょう。

でも、いきなり生で乳頭には触らせないわ。

気持ちよくなりたいなら指示に従つて。

気持ちよくなりたいなら、私の命令は絶対です。

最初は脇腹から。次は胸のあたりをなぞるように。爪を立てたり、指先の先で、羽でぐすぐるみたいに感じて。

（右 超近距離 囁き）

(耳舐め30秒) ……そして、十分に焦らしたら、乳首を弄りましょうね。

まずはすりすりと指先で弄りましょう。これもシンプルで気持ちいいでしょう。体を慣らしていけば、これだけでイけるくらい。でも、まだイッたらダメですよ。

(耳舐め15秒)

(子供をあやすように) 気持ちいいですね…。

(耳舐め15秒)

つまんで、乳首をくりくりして下さい。  
くりくりしたら、また指先で弄つて。  
変化をつけて、繰り返して。

同じ弄り方ばかりだと飽きてしまいますよ。

腰をかくかく言わせながら、一番気持ちいいようにして下さい。

(耳舐め15秒)

だんだん乳首がじんじんしてきましたか？

これからが本番ですよ。ナツの命令を全部受け止めて、もつとも一つと気持ちよくなつて。

優しく、本当に優しく、爪を立てて乳首をくすぐつて下さい。

しゅりしゅり……しゅりしゅり……痛くないようにしてくださいね。  
めちゃくちやになりたいのはわかりますが、乳首から出血しているご主人様は見たくなりですか。

(耳舐め20秒)

しゅりしゅり……しゅりしゅり……感じてる顔、可愛いですよ……。

(耳舐め20秒)

次は、複数本の指先で同時に、乳首を「しょ」しょくすぐつて下さい。

刺激が桁違いになるはずです。

足をびーんって伸ばして、限界までこの刺激の気持ちよさを。味わって下さい。

(耳舐め 12秒)

気持ちいいですね……頭がほわほわしてきたのではありませんか。  
溶けて下さい。

(耳舐め 5秒)

どこまでも。

(耳舐め 20秒)

では、一旦止めて下さい。

(左 超近距離囁き)

軽くスパートをかけますよ。指先を何かでぬるぬるさせて下さい。  
ぬるぬるさせないと、乳首が駄目になってしまいますから。  
ぬるぬる液が切れたなら、薬草を潰してくるのでゆつて下さいね。

まずはぬるぬるを伸ばすみたいに指の腹で乳首を弄りましょう。

(耳舐め 15秒)

感じて下着を汚してしまいましたか？

気持ちよくてちょっとだけ腰が動いているのでは?  
いけないご主人様ですねー。

(耳ふー アドリブ 1秒換算)

ふふっ。反応、面白いです。

飽きてきたら、爪を立てていじってみませんか。

ぬるぬるがありますから多少強くとも大丈夫です。

それにも飽きたら、指先で摘んでぐにぐに。

爪を立てたり、つまんだり、指の腹だたり、好きなように弄つてみて下さい。

しばらくずっと舐めていますから。

腰をかくかく振りながら、乳首の快感を味わつていて下さいね。

(耳舐め40秒)

淫乱ご主人様。

(耳舐め40秒)

軽く達しそうですか？

おかしくなれそうですか？

結構です。では、イけるように、お好きなように、乳首を弄つて下さい。

おかしくなりましょう。

ご主人様がおかしくなつて、変態になつて、人族をやめてしまつても、ずっと一緒にいますからね。

弄つて、弄つて、弄つて。乳首を弄つて。

足にぎゅーつて力を入れて、快樂を逃さないで。

イきそうになつたら、もっと速く弄つて、そして……

イぐ。イぐ。イぐ。絶頂する。

下腹部に熱が溜まつて、ぎゅーつて足に力を入れて、一度前の絶頂よりももつとちよつとだけ気持ちいい絶頂。

ところどころつて頭に気持ちいいが流れ込んで、別に爆発もしないし、流れ出しません、ただただ溜まっていく。

その絶頂がご自身を包んで、自分が消えてしまいそうになつて……また戻つてくる。

まだ手を動かしてもいいですよ……。

どうですか？ 満足しましたか？ あるいはまだ足りませんか。  
願いを教えて？ ナツは何回でもお付き合いしますから。

□ほんの少しだけ明るい月夜の慰め・解除

そうですか。

(中央 中距離 普通の声)

催眠を完全解除します。

解除しておけば、シラフで耳を舐められるたびに入ることはありません。

今から10数え上げますので、数え終わればご主人さまの催眠状態は完全に終わっています。

かけられた暗示の内容は、覚えておきたければ、次催眠状態になった時に思い出します。けれど通常の状態では、一切思い出す事はありません。

1、2、3、4、5。徐々に気分が晴れやかになつていきます。

6、7、8、9。さつきのはなんだつたんだろう。もう思い出せないくらい、催眠状態から解けています。

10数えたら、必ずご主人様の催眠は解けます。  
10。

終わりです。催眠状態は終わり。さあ、冷たい水でも飲んで下さい。すっきりしますよ。えっちで消耗したとは思いますが、お休みされるなり、ご本を読むなり、次にやりたいことはなんですか。

□雨降る日のお出かけ準備

(中央 遠距離、ほぼ別の部屋を想定 普通の声)

帰りました。いますよね、ご主人様。

(中央 中距離 普通の声)

ああ。

(中央→やや左に移動しながら 中距離 普通の声)

ただいま帰りました、ご主人様。外は雨が降っていましたよ。

(やや左より 中距離 普通の声)

……え。

どうしたんですか、ご主人様。歯磨きセツトとかみそりなんて持つて。歯を磨いて、今日はおめかしましたのですか？

偉い。かっこいい。素敵です。。

おめかししたご主人様は本当に素敵で、見ていると最高の気分になるわ。

……つと、んんつ。

そうだ。せつかくだつたら、耳掃除もしませんか。耳掃除は耳によくないと言いますが、清潔感にはいいですよ。

(左の近距離に移動しながら 普通の声)

良いから良いから。ナツの膝枕に来て下さい。

(左 近距離 普通の声)

耳を愛撫される快樂に歪むだらしない顔も、セツトで見ておきたいので……  
という冗談はさておき、どうぞどうぞ。ね。

ふふふ……ご主人様を耳かき。大切なお仕事ですから。

しかも（※耳かきは）無限にできる。爪は切ると切れちやいますからね。

（右 超近距離 普通の声）

かきかきかき。

買い物帰りのいつもの道で、例の野良の子供のハウンドに餌をやりました。

最近、近くに行くだけで尻尾を振りながら駆け寄つてくるようになつたんですよね。

わんわん、わんわんって。

わんちゃんはすごく可愛らしいわ。世話をちゃんとするので、落ち着いたら飼いたいです。

ご主人様は動物に好かれるタイプ……ではなかつたですね。  
申し訳ありません。

つ精霊に嫌われても、動物に嫌われても、  
私という妖精は好きですから大丈夫ですよ。

……なんで私唐突に愛の告白をしてしまつたのかしら。

? ふふ、もう、どうしたんですか。左手にぎにぎしないでください。  
くすぐつたいわ。

……やだ、もう、握らないで。照れてしましますから。

はい、握手はおしまいです。続けるなら振りほどきますよ。というか、右手で耳たぶを千  
切つて粉々にしますよ。

（※彼女が得意な「雪魔法」は、物体をバラバラに分離させる魔法です）

ナツは一応幻想とかお伽噺の存在なんですから。ご主人様だからって気安く触つたらだ  
めだわ。

自分で言うなつて言われても、事実そなんですか。

（耳ふー）

右側もおしまい。ごろんつてして、私のお腹を向いて下さい。

(左 超近距離囁き)

行きます。

くすぐったいですか？

ごめんなさい、耳を痛めたらまずいのでほとんどくすぐっています。

ご主人様がぞわぞわに耐えながら私のスカートをぎゅっと握るのがとても可愛らしくてやめられないんです。

ご主人様のせいだわ。全部悪いです。

こしょこしょこしょ。

一応かすみたいたい感じのやつだけちりがみに取つておいてますので。

こしょこしょこしょ。

(右 超近距離囁き声)

良い夢を見たんですよ。

世界のどこかに小さな部屋があつて、そこで時計がずっと動き続けていて、世界の時計を刻んでいるおとぎばなしの夢。

世界がうまくいかなかつたり、終わつたら、そこに住む神様が、手で時計の針をくるくるまわして、世界をはじまりに戻す。

そのおとぎばなしの神様の顔がですね、よく見るとご主人様の顔なんですね。

夢の中のご主人様は、上手く行かないたびに時計の針をちょっとだけ戻して、いろんな人を幸せにして、ご自身も幸せになつて、

そして幸せそうに、その部屋に暮らしているんです。

たまにその部屋には誰かが遊びに来ますし、ご主人様も誰かの家に遊びに行きます。

ご主人様と仲が良かつた人はもちろん、ご主人様に石を投げた人達も、この前はすまなかつた、

私達のために頑張つてくれたのに、つて、遊びに来るんです。

何か楽しいことの前兆なんかしら。気になるわ。

(左 近距離 普通の声と囁き声の中間)

……ふふ。もういいんですか。  
しようがない<sup>ご</sup>主人様ですね。

耳かき棒を使って、耳だけで気をやれるくらい開発しようとthoughtたのに。

(真後ろ 中距離 普通の声)

?

なんだか今日は気分良さそうですね?  
これからどうされるんですか。

え……? 出かける準備……。  
出かける……準備だつたの。今は。  
どこに? ……そうですか。今日は、こつそり使命を。

(左よりの後ろ 数行前よりちょっとだけ近く 中距離 普通の声)

……ふふふ。弱っている<sup>ご</sup>主人様も可愛いけど。働く<sup>ご</sup>主人さまも、すぐくすぐカツコ  
いい。

(左よりの後ろ 近距離 囁き声)

お供、しますか?

(聞き手はヒロインを抱きしめています。ダミーへッド等とそれ違うように、抱きしめ合う  
よう<sup>ご</sup>に収録頂けますと幸いです)

(左 抱き合つた距離 囁き混じりの普通の声)

ひやつ。な、なんですか急に。そんな急に抱きしめられても……どうしたのですか。  
……どうしたのですか?

……な、なんか喋って下さい。

あの、抱きしめられても照れませんよ、別に。  
(照れています)

ナツはもう子供じゃないんですから。

……うう……なんですか、急に。本当に。

やだ……」主人様がどきどきして、どきどきが移つて変になります。ただそれだけで  
す……ナツはドキドキしてないわ。

ちょっと……」主人様……？ んう……。強く抱きしめないで下さい、おかしくなります。

……いやです……もうやめてください……。

うひやつ何！？ 耳元で囁かないで下さい。

(左 抱き合った距離 普通の声)

……「行つてくる」。ですか。

……ふふ。

畏りました。晩御飯を作つてお待ちしております。

行つてらつしやいませ。私の、最高にカッコいい、主人様。